

市立函館博物館館報サラニップ

SARANIP

No.52 2013.3.31

—収蔵資料紹介—

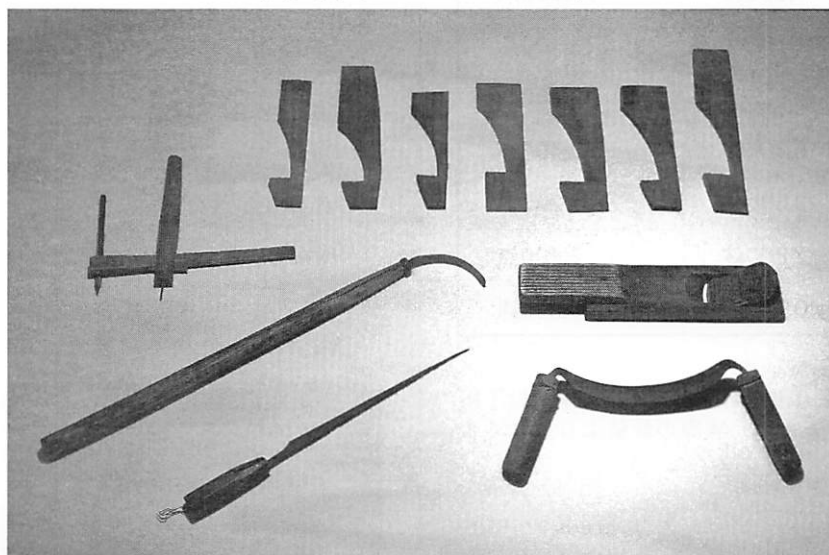
樽製作道具

(受入番号：H14-92~139)

ぶんまわし

目違かき

鋸



型木

内丸鉋

銑（セン）

イカの塩辛はやっぱり木樽仕込み

「イカす街函館」では、津軽海峡を回遊するイカを追って目がくらむほどの集魚灯をつけたイカ釣り船と捕れたてのイカが、初夏から初冬にかけての風物詩でもあります。

今回紹介する資料は、函館名物のイカを陰で支えてきた職人さんの道具です。イカはスルメやサキイカなどに加工されますが、その中でも家庭の食卓に出てくるものとしてイカの塩辛があります。市内の入舟町や弁天町では水産加工会社がイカの塩辛を製造していて、かつては木樽で仕込んでいました。その木樽を製作していた入舟町に在住していた故進通米蔵氏の道具が、当館に収蔵されています。

進通氏は明治43年に千葉県野田市で生まれ、ジョウヤマサ醤油の樽職人をしていました。昭和18年頃、函館の水産加工会社が塩辛用樽の製作のため本州方面に職人を探しに行き、進通氏に声がかかりました。塩辛の樽は醤油樽の転用が多かったことから、その産地の職人であった進通氏が採用されたものと思われます。しかし、戦後数年して水産加工会社が火事により加工場を閉鎖してしまい独立することになりました。周辺には加工場が多数あったため、仕事には困らなかったそうです。材料となる杉材は材木問屋ではなく営林局を通して購入し、家を一軒借りて保管していました。保管する場合は割れを防ぐために柱目に伐って乾燥させます。タガとなる竹は大手町の商店から購入しました。竹は一寸巾位に割ってあるものを20本位にまとめて丸めてある状態のものを購入していましたが、後には竹一本のまま購入しました。道具類は谷地頭町の商店で購入していました。樽の製作以外にもイカ裂き用のマキリの研ぎ、山背泊の漁師や台町にあった日魯の製網工場に自前のハサミをもって仕事にいていた人達のハサミの研ぎも行っていました。



センで板を加工する進通米蔵氏
(1980年代後半)

樽の製作工程は進通氏本人ではなく、作業を手伝っていた奥さんからの聞き取りです。①丸太を小巾板にする。その際に丸ナタでカーブを付ける。②型木で形を整えて小巾板を乾燥させる。③センと堅木で小巾板を整える。④のりを付けて仮止めし、鉄の輪あるいは竹の仮輪を付ける。一斗樽で一週間乾かす。⑤輪をはずしてカンナで中を削る。外もカンナで削る。粗削りはセン、仕上げはカンナです。⑥加工場では底板とフタは製材屋でひいたものを使用し、独立してからは自分で作っていた。⑦フタを閉めて業者に渡す。フタには穴が空いていてジョウゴで塩辛を詰める。栓も自分で削って渡す。以上が大まかな製作過程です。

塩辛を漬ける樽も木からプラスチックなどに代わり、樽を作る職人さんも姿を消していきました。木樽で漬けた塩辛は味が柔らかいと懐かしむ声もあります。

(保科 智治)

－ 収集・収蔵 －

収蔵資料概数一覧

※平成24年 3 月31日現在

分 類	件 数	点 数
博物館史	300件	1,500点
地質鉱物	20件	2,000点
植物	10,100件	10,300点
動物	7,800件	21,300点
考古	2,700件	571,100点
歴史	4,300件	18,500点
民俗	6,300件	32,400点
民族	6,600件	8,200点
美術工芸	2,800件	3,900点
合 計	40,920件	669,200点

※一括は1件1点と計算しています。
※100以上は2桁の端数を切り下げ表示し、100未満は1桁の端数を切り下げているため、実際の数値より少なく表示しています。

平成24年新収蔵資料

※平成24年 1 月 1 日～12月31日受入分

のれん 他	4件5点
【函館市：天野 成子 氏 寄贈】	
椎久年蔵使用の村田銃 他	2件2点
【八雲町：椎久 健夫 氏 寄贈】	
写真 他	20件103点
【函館市：田村 和子 氏 寄贈】	
さしみ包丁 他	8件8点
【函館市：富岡 由夫 氏 寄贈】	
唐澤写真館エンボス 他	2件2点
【函館市：唐澤 脩 氏 寄贈】	
衣料切符	1件1点
【余市町：山口 勇実 氏 寄贈】	
一日乗車券（青函トンネル本坑貫通記念）	1件1点
【函館市：後藤 隆司 氏 寄贈】	
写真 他	9件9点
【函館市：大野 基 氏 寄贈】	
写真（第一回港まつり関係）	1件12点
【函館市：木村 ひさ 氏 寄贈】	
鈴（馬鉄用） 他	3件5点
【函館市：松本 勝美 氏 寄贈】	
絵葉書	1件7点
【札幌市：佐々木 實 氏 寄贈】	
横田家関係資料 他	149件342点
【函館市：佐藤 美子 氏 寄贈】	
写真	1件9点
【函館市：島本 セツ子 氏 寄贈】	

引き札	1件1点
【石狩市：石橋 孝夫 氏 寄贈】	
船員手帳	1件1点
【神奈川県：神部 京子 氏 寄贈】	
東郷平八郎謹書「教育勅語」 他	9件9点
【函館市：花光 美佐子 氏 寄贈】	
雪風景 他	88件91点
【札幌市：今井 孝司 氏 寄贈】	
カワセミ 他	2件2点
【函館市：北海道渡島総合振興局 寄贈】	
函館市戸井郷土館所蔵資料 他	一括
【函館市戸井教育事務所 移管】	
クルーゼンシュテルン世界周航記附図	1件1点
【旧蔵資料 登録】	

その他寄附等

※平成24年 1 月 1 日～12月31日受入分

書籍『地域史と歴史研究』	82冊
【函館市：佐々木 馨 氏 寄贈】	



佐々木馨氏から山本教育長へ書籍の寄贈

資料燻蒸

平成24年 9 月29日（土）～10月 1 日（月）
（博物館史・自然・歴史・民俗・美術資料）
平成24年11月15日（木）～17日（土）
（民族資料）

博物館実習生受入

平成24年 9 月23日（日）～10月16日（火）
北海道教育大学函館校 7 名

— 普及（展覧会） —

平成24年度展覧会開催状況

月	4月		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日	4/1 ～15	4/17 ～27	4/28～6/24		6/26～7/13	7/14～9/23		9/25～10/14		10/16～11/18	11/20～12/2	12/4～3/31	
ロビー	前年度ロビー展 <												

企画展



歴史・産業・意匠

函館の麦酒

2012

4.28 - 6.24

開館日数 58日間中51日

共催 公立はこだて未来大学、函館市中央図書館

特別協力 サッポロホールディングス㈱、サッポロビール㈱、サッポロ飲料㈱

後援・協力 市立函館博物館友の会 他 計7機関

出品資料 ポスター 他 計337点

観覧者数 3,415名

関連事業 展示解説セミナー 講演会

担当 霜村

名 称	函館の麦酒—歴史・産業・意匠—
期 間	平成24年 4月28日（土）～6月24日（日）
開館日数	58日間中51日
共 催	公立はこだて未来大学、函館市中央図書館
特別協力	サッポロホールディングス㈱、サッポロビール㈱、サッポロ飲料㈱
後援・協力	市立函館博物館友の会 他 計7機関
出品資料	ポスター 他 計337点
観覧者数	3,415名
関連事業	展示解説セミナー 講演会
担 当	霜村



展示解説セミナーの様子

図書館・未来大学と共催で、デジタル化の成果を発信する初の試みは、ビールをテーマに取り上げました。資料調査から、広報宣伝物のデザイン、展示プランまで、3者で協議を重ね、一つの形に作り上げました。

函館とまちづくり協定を結ぶサッポロビール、サッポロ飲料には、ビールや飲料水に関する貴重な資料をご提供いただき、講座についても、講師やスタッフ、広報まで全面的にご協力いただきました。展示を見て、講座を聞いて味わい、五感で楽しむ充実した内容になりました。名刺型チラシをバル街で配布するなど、初物尽くしで、人の輪で広がる展覧会になりました。

企画展



7.14 - 9.23

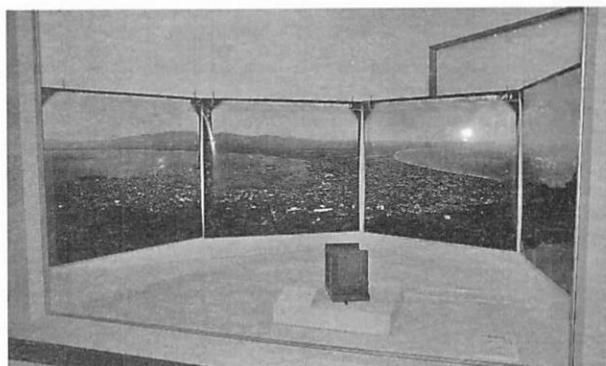
写された幕末・明治の函館

名 称	写された幕末・明治の函館
期 間	平成24年 7月14日（土）～9月23日（日）
開館日数	72日間中59日
出品協力	函館市中央図書館 他 計2機関
後援・協力	市立函館博物館友の会 他 計8機関
出品資料	田本アルバム 他 計200点
観覧者数	5,212名
関連事業	展示解説セミナー
担 当	野村・保科

横浜・長崎とならび日本の写真発祥の地である函館では、幕末以降、数多くの写真師がその町並みや建物などを撮影しています。その中でも今年没後100年と

なる田本研造の業績や、幕末から明治にかけて写された函館の町並みを古地図とともに展示し、町の変遷を紹介しました。

特に、今回の企画展開催にあわせ道立函館美術館と共同で行った市中央図書館所蔵写真の調査で確認された田本研造撮影のガラス原板や、デジタル解析により判明した箱館戦争時に撮影された港湾のパノラマ写真などは、大きな話題となりました。



明治25年の函館港パノラマ写真

共催・協力事業

※平成24年1月1日～12月31日開催分

■NHK函館放送局制作

開局80年記念番組「どどんと道南テレビ」

※平成24年2月11日(土)

本館所蔵「ラジオ」貸出

■北海道開拓記念館主催

開館四十周年記念特別事業「北の縄文ー縄文の祈りと心」

※平成24年3月6日(火)～5月13日(日)

本館所蔵「土偶」16点貸出

■函館市教育委員会主催

「函館空港ギャラリー常設展示 函館縄文遺跡探訪ー函館空港遺跡群と北の縄文文化ー」

※平成24年4月1日(日)～平成25年3月31日(日)

本館所蔵「伊藤コレクション」他 計28点貸出

■栃木県立博物館主催

春季企画展「戊辰戦争ー慶応四年下野の戦場ー」

※平成24年4月28日(土)～6月10日(土)

本館所蔵「函館大戦争之図」他 計7点貸出

■函館市縄文文化交流センター

常設展示

※平成24年5月24日(木)～平成25年3月31日(日)

本館所蔵「ヤス」他 計97点貸出

■北前船寄港地フォーラムinはこだて実行委員会主催

「第9回北前船寄港地フォーラムinはこだて」

※平成24年5月25日(金)

本館所蔵「弁財船模型」他 計2点貸出

■網走市教育委員会

「史跡最寄貝塚ガイダンス施設展示用複製品製作」

※平成24年7月6日(金)～9月28日(金)

本館所蔵「円形帯飾り」他 計2点貸出

■函館市北方民族資料館

平成24年度収蔵資料展「チセー模型と絵でみるアイヌの住まいー」

※平成24年7月21日(土)～10月21日(日)

本館所蔵「家模型」他 計36点展示協力

■旭川市博物館主催

第66回企画展「昭和の名作さし絵具ー梁川剛一の世界ー」

※平成24年7月21日(土)～9月9日(日)

本館所蔵「アラビアン・ナイト」他 計83点貸出

■夷酋列像再発見事業実行委員会主催

「夷酋列像特別公開」 ※平成24年7月23日(月) 展示協力

■八戸市博物館主催

夏季特別展「縄文人の一生ーヒトの骨・遺物が語る縄文時代の世界ー」

※平成24年8月8日(水)～9月17日(月)

本館所蔵「動物土偶」他 計2点貸出

■MIHO MUSEUM主催

秋季特別展「土偶・コスモス」

※平成24年9月1日(土)～12月9日(日)

本館所蔵「土偶」他 計2点貸出

■財団法人函館市文化・スポーツ振興財団主催

「挿し絵画家梁川剛一の世界ー梁川剛一生誕110年に寄せて」

※平成24年9月3日(月)～11月4日(日)

本館所蔵「こぼと(ブランコ)」他 計41点貸出

■函館の音楽と歴史を考える会主催

渡島総合振興局ロビーコンサート「縄文時代の響き・石笛」

※平成24年10月26日(金)

本館所蔵「石笛」貸出

■田村和子氏

「紺野家家系調査」

※平成24年11月17日(土)～平成25年3月31日(日)

本館所蔵「家系図」貸出

■函館の音楽と歴史を考える会主催

カトリック湯川教会コンサート「音楽による平和の祈り」

※平成24年12月15日(土)

本館所蔵「石笛」貸出

資料利用(掲載等)許可

※平成24年1月1日～12月31日許可分

■考古資料(「石笛」等)	15件
■歴史資料(「西洋砲台之図」等)	57件
■民俗資料(「横山松三郎関孫資料」)	1件
■民族資料(「バラライキ」等)	16件
■美術資料(「アイヌ絵巻」等)	7件
■その他(展示風景)	1件

平成25年度企画展開催予報

※企画展名称および開催期間はいずれも予定

■「函館商人の人生模様」(4～5月)

当館の古文書調査講座による調査成果を紹介。

■「新島襄と幕末の函館」(6～9月)

幕末に函館からアメリカに渡り後に同志社大学を創設する新島襄と函館の関わりを紹介。

■「新収蔵資料展」(9～11月)

平成24年度に当館で受け入れた資料を展示。

－ 普及（講座）－

平成24年度 講座開催実績

【ワークショップ（通年講座）】

No.	講 座 名	開催期間	講 師	参加／定員
1	古文書調査	4/4(水)～11/1(木) 年20回	保科	6／ 6
2	自然観察入門講座 －自然の物知り博士をめざそう－	4/15(日)～3/3(日) 年10回	佐藤	17／ 20
3	四季の星空観測講座 －函館・四季の夜空観測－	5/25(金)～1/18(金) 年 4 回	佐藤	12／ 20
4	学芸員の「ちょっといい話」	6/9(土)～2/9(土) 年 4 回 各30名	外部講師	47／120

計 61／166名

【単 講 座】

No.	講 座 名	開催期間	講 師	参加／定員
1	大人のビール講座 1 「開拓使麦酒醸造所から始まる ビールの歴史」	5/19(土) 13:30～15:00	外部講師 霜村	82／150
2	学芸員こぼれ話 「函館博物館の民族資料」	5/20(日) 13:30～15:00	大矢	3／ 15
3	133年前にタイムスリップ！ 「博物館旧一号館公開」	5/25(金) 10:00～15:00	－	167／ －
4	宇宙と天体シリーズ 「春の星座を見てみよう」	5/25(金) 18:30～20:30	佐藤	11／ 16
5	大人のビール講座 2 「ビール博士のビール講座」	5/26(土) 15:00～16:30	外部講師 霜村	107／107
6	子どもの飲み物講座 「炭酸飲料の手作り教室」	5/27(日) ①11:00～12:00 ②13:30～14:30	外部講師 霜村	40／ 40
7	地域の身近な自然を調べる 「浜辺の漂着物を調べよう」	6/10(日) 9:30～12:00	佐藤	2／ 16
8	親子で学ぶ 「不思議な石 石灰石」	6/23(土) 13:30～16:00	佐藤	7／ 20
9	宇宙と天体シリーズ 「夏の星座を見てみよう」	7/20(金) 19:00～20:30	佐藤	16／ 16
10	親子で作る 「ベタベタアート」	7/21(日) 13:00～15:00	霜村	13／ 20
11	夷酋列像再発見シンポジウム	7/25(水) 13:30～17:00	外部講師	130／130
12	わくわく科学教室 「ドライアイスで遊ぼう」	7/26(木) 13:30～16:00	佐藤	16／ 20

協力機関等

知内町教育委員会、江差町教育委員会、今金町教育委員会、サッポロビール博物館、サッポロビール株式会社、サッポロ飲料株式会社、函館市北方民族資料館、夷酋列像再発見事業実行委員会、富士シリシア㈱、JR北海道函館運輸所、財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構（順不同・敬称略）

出前講座等

※平成24年 1 月 1 日～12月31日開催分

■ 自然分野（野鳥観察などに関するもの）	1 件
■ 考古分野（縄文文化などに関するもの）	3 件
■ 歴史分野（箱館奉行所などに関するもの）	8 件
■ 民族分野（アイヌ文化などに関するもの）	1 件
■ 美術分野（アイヌ絵研究などに関するもの）	2 件
■ そ の 他（文化財などに関するもの）	3 件

No.	講 座 名	開催期間	講 師	参加／定員
13	わくわく科学教室 親子で「なき砂を作ろう」 －シリカゲルって何－	7/27(金) 13:30～16:00	外部講師 佐藤	2／ 20
14	夏休み自由研究 「ピンホールカメラを作ろう」	7/29(日) 13:30～16:00	野村	13／ 15
15	夏休み自由研究 「鉄道車両の仕組みとJR見学会」	7/31(火) 10:00～12:00	外部講師 佐藤	50／ 50
16	夏休み自由研究 「昔の生活を調べよう」	8/8(水) 14:00～15:30	保科	11／ 15
17	「黒曜石で矢じりを作ろう」	9/8(土) 13:30～16:00	外部講師 野村	10／ 15
18	アイヌの狩猟具 イバブケニー鹿笛－制作体験 (アイヌ文化活動アドバイザー派遣事業)	9/9(日) 13:30～16:45	外部講師 大矢	7／ 15
19	わくわく科学教室 親子で「イカを科学する」	11/10(土) 13:30～16:00	佐藤	6／ 16
20	冬休み自由研究 「さし絵に挑戦！」 (文学館と共催)	1/11(金) 13:00～16:00	霜村	13／ 20
21	学芸員こぼれ話 「函館にきた千島のアイヌ」	1/13(日) 13:30～15:00	大矢	8／ 15
22	わくわく科学教室 「もしも原子が見えたなら」	1/19(土) 13:30～16:30	佐藤	13／ 16

計 727／747名

【展示解説セミナー】

No.	講 座 名	開催期間	講 師	参加／定員
1	展示解説セミナー 「函館の麦酒」	4/28(土) 13:30～15:00	霜村	30／ 30
2	展示解説セミナー 「函館博物館の民族資料」	6/17(日) 13:30～15:00	大矢	7／ 15
3	展示解説セミナー 「写された幕末・明治の函館」1	7/14(土) 13:30～15:00	田原	30／ 30
4	展示解説セミナー 「写された幕末・明治の函館」2	7/28(土) 13:30～15:00	野村	13／ 30
5	展示解説セミナー 「新収蔵資料展」	10/16(火) 13:30～15:00	博物館 実習生	4／ 30

計 84／135名



ブザンソン美術考古学博物館長エマニュエル・ギゴン氏の講演
（夷酋列像再発見事業シンポジウム）

－ 調査・研究 －

調査事業

- アイヌ民族資料調査研究（大矢・児玉）
- 梁川剛一資料整備（霜村）
- 次年度企画展調査（野村・保科）

研究論文・一般著述等

※平成24年1月1日～12月31日掲載分

- 大矢京右2012「研究ノート クリルアイヌに関する研究史と物質文化資料」『佐々木馨教授退官記念論文 地域史と歴史研究』 pp.35-69 佐々木馨教授退官記念論文編集委員会；函館市
- 大矢京右ほか2012「千島列島シュムシュ島で収集された皮革製子供服の自然科学的分析について」『元興寺文化財研究所研究報告2011』 pp.29-40 (財)元興寺文化財研究所；奈良県
- 保科智治2012「資料紹介 館蔵「酒谷家資料」の紹介」『市立函館博物館研究紀要』 22 pp.1-40 市立函館博物館；函館市
- 大矢京右2012「市立函館博物館所蔵八雲関連アイヌ資料」『北海道民族学』 8 pp.77-80 北海道民族学会；札幌市
- 野村祐一ほか2012「南北海道古銭とベトナム銭「開泰元寶」の発見ー志海苔古銭と涌元古銭ー」『考古学ジャーナル』 626 pp.25-28 ニューサイエンス社；東京都
- 大矢京右2012「小島倉太郎の遺品にみるその足跡ークレイセロック号捜索から聖スタニスラフ第3等勲章受勲までー」『函館日口交流史研究会会報』 pp.2-6 函館日口交流史研究会；函館市
- 保科智治2012「観光地の中の地域博物館ー日常と非日常の狭間でー」『地方史研究』 358 pp.23-27 地方史研究協議会；東京都

- 保科智治2012「霊山歴史館所蔵の五稜郭・弁天台場絵図について」『維新の道』 146 p.2 霊山歴史館；京都府
- 大矢京右2012「市立函館博物館所蔵「馬場コレクション」『北海道立北方民族博物館友の会季刊誌 Arctic Circle』 84 pp.12-13 北海道立北方民族博物館友の会；網走市
- 大矢京右2012「交通の要・青函連絡船」『写真アルバム 昭和の函館』 p.152 株式会社いき出版；新潟県

研究発表等

※平成24年1月1日～12月31日発表分

- 霜村紀子2012「榎本武揚も飲んでいた!?函館の麦酒ー歴史・産業・意匠ー」函館ロータリークラブ例会卓話；函館市

資料調査・取材対応

※平成24年1月1日～12月31日対応分

- 考古資料（「女名沢出土北海道式石冠」等） 15件
- 歴史資料（「戸井の板碑」等） 7件
- 民俗資料（「二枚継鶏卵写真」等） 2件
- 民族資料（「三人乗皮舟」等） 10件
- 美術資料（「梁川剛一関係資料」等） 2件
- その他（展示室風景等） 2件

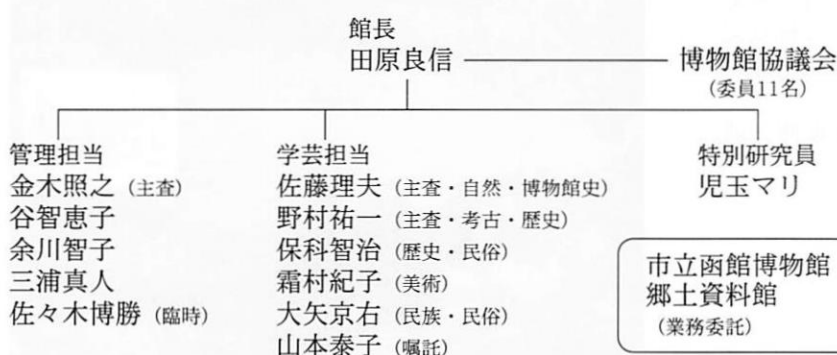
印刷物発行

※平成24年1月1日～12月31日発行分

- 市立函館博物館編2012『市立函館博物館研究紀要』 22
※平成24年3月31日発行 40頁

－ 組織 －

平成24年度 市立函館博物館機構・職員構成



一誌名SARANIP(サラニップ)ー
アイヌ語：樹皮を編んで作った袋。

博物館情報や研究成果などをSARANIPに入れておき、その蓄積が今後重要な資料となると命名したものです。



SARANIPーサラニップー No.52

編集・発行 市立函館博物館
〒040-0044
北海道函館市青柳町17番1号 (函館公園内)
TEL:0138-23-5480 FAX:0138-23-0831
E-mail:hakohaku@city.hakodate.hokkaido.jp
URL:http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/board_of_edu/lifelong_learning/museum/